

協働し、指導の徹底を図る

基本理念

子供の可能性を信じ、個性や能力を最大限伸ばす

第一期江波中「学びの向上」3ヵ年プラン(H19~H21) 成果と課題

生徒会活動の活性化

○ 組織の見直しにより、生徒が自主的に、責任を持って活動するようになった。
○ 縦割りがリーダー育成の面などにおいて大きな役割を果たしている。
○ 行事が活発化している。
○ 執行部が学校のリーダーとして育っている。

○ リーダーが育っていない。学年リーダー、学級リーダーを育てることが必要。
○ 執行部と学級委員とのつながりが浅い。
○ 行事以外のところでリーダーが育っていない。

学年・学級経営の充実

○ 意識して掲示物を掲示するようにしている。
○ いたずらがなく、掲示物が充実できた。
○ 学校内からゴミが減った。清掃活動に課題は残るが、校内環境は確実に好転している。
○ 教育相談により、どの子どもも自分が大切にされている意識を持てるようになった。
○ 学校全体が落ち着き、当たり前前のできるようになった。
○ 8時20分までの登校者数が5%未満に

○ よりよい人間関係づくりのため、もつと班やクラスで高めあう取り組みが必要である。
○ リーダーの育成や学級の諸問題にきこませる時間がない。
○ 日々追われて教育相談や予防的生徒指導ができない。
○ 学習環境を整える。

宿泊研修

○ 帰属意識が向上し、不登校生徒が減少した。

○ マナー等が継続できない。

道徳教育の充実

○ 道徳の教材を吟味する時間があると良い。
○ 学校全体レベルでの推進体制が必要である。
○ 授業改善が求められる。(一方通行ではない)
○ マナーや規範意識に課題がある。(挨拶、礼儀、服装などなかなか徹底できない。
○ 教材や資料等を充実させる。

授業改善及び学力の向上

○ 授業に参加しない生徒が減ってきて取り組みようようになった。
○ 小グループの学びに抵抗がなくなり、授業に参加するようになった。
○ 子どもを見る視点が少し変化してきた。
○ 授業研究により、生徒理解が深まった。
○ 家庭学習のチェックにより、家庭学習の習慣が少しずつついている。
○ 江波中タイムにより、数学の基礎・基本が向上した。

○ グループ学習で行なう内容や指導の仕方がつかめない。
○ 協同的な学びへの抵抗感。
○ 協同的な学びが実施できるような組織的な動きができていない。
○ 家庭学習の内容に不満足で、方法を工夫する必要がある。
○ 地道に努力する生徒が育たない。
○ 全体的に学力が低く、特に国・英の書くことの力がついていない。
○ 学力向上プロジェクトが十分機能していない。
○ 朝のSHRの時、生徒の様子がみられない。

地域ぐるみでの子どもの育成

○ 保・幼・小・中及び地域との連携により、一貫した教育を行なうため、江波中学校区教育全体計画を策定した。
○ 取り組みとして、保・幼・小・中の情報交換や小・中連絡会、部活交流会(雨のため中止)などを実施し、生徒理解を深めたり、幟旗や啓発用ポスターを作成した。

学力の向上

豊かな感性とマナー・規範意識の向上

リーダーの育成

5つの合言葉

・話をよく聞く
・自分の思いを伝える
・あいさつをする
・時間を大切にする
・学習や生活の場をきれいにする

目指す教職員

*常に学びの姿勢を持ち、生徒とともに成長する教職員

目指す学校像

*組織的、機能的、かつ協働的な学校運営体制の確立
*地域に信頼され、開かれた学校づくり

1 進んで学習に取り組み、確かな学力を身につける。

〈そのために〉
○ 授業改善に努める。
・生徒一人一人が本当の意味で学ぶ(協同的な学び)ことができるように、授業展開の中で、2回程度グループ学習を取り入れ、一斉授業からの脱却を図る。
・年間一人1回の授業研究と授業研究会を充実させる。
○ 基礎・基本を定着させるために、学校全体として取り組む。
・家庭学習の習慣化を図る。
・江波中タイムを一層充実させる。
○ 学習規律の徹底を図る。
・授業開始と終わりの礼を徹底させる(起立して行なう)
・ベル着から着ベルへの意識の転換を図る。
○ 教室環境等の整備に努める。
・机、カーテン、ロッカー等の整理整頓に努めるとともに、授業前には必ず、ゴミ、机など確認する。
・教室内外の掲示物等を充実させる。

2 礼儀やマナーを身につけるとともに、豊かな感性を持ち、よりよいものを目指して積極的に行動できる。

〈そのために〉
○ 生徒会活動(学年生徒会含む)を一層充実させる。
・礼儀やマナーの推進に取り組む。
・挨拶・クリーンキャンペーンなどを一層充実させる。
○ ボランティア活動に取り組む。
・生徒自ら課題に気がつくための取り組みを工夫する。
○ 縦割りを取り入れた行事や、いろいろな生徒会の取り組みを通して、リーダーを育てる。
○ 道徳教育の充実を図る。(新学習指導要領に沿って)
・全体計画や年間指導計画を見直す。
・活用しやすいように、教材や資料を整理する。
・心に響く道徳授業に努める。
○ 体系化された様々な体験活動を取り入れる。
・宿泊研修や修学旅行、職場体験、更には異年齢交流(保・幼・小・中含む)などを通して、つながりを深め、よりよい人間関係づくりやコミュニケーション能力を高める。

3 保・幼・小・中学校や地域との連携を一層密にしなが江波中学校区教育全体計画に基づいた実践を行なう。

〈そのために〉
○ 5つの合い言葉(江波中5訓)が身に付くように、地域と連携しながら全教育活動において意識しながら指導する。
○ 保・幼・小・中連携の具体的な取り組みとして、小中連絡会、部活交流会を充実させるとともに、その他の取り組み内容について工夫する。
○ 小・中連携に基づいた生徒指導体制の確立を図る。

第二期江波中「学びの向上」3ヵ年プラン

学校教育目標(目指す生徒像)

清く明るい心を持ち、人間としてお互いを尊重することができる

清明 敬愛

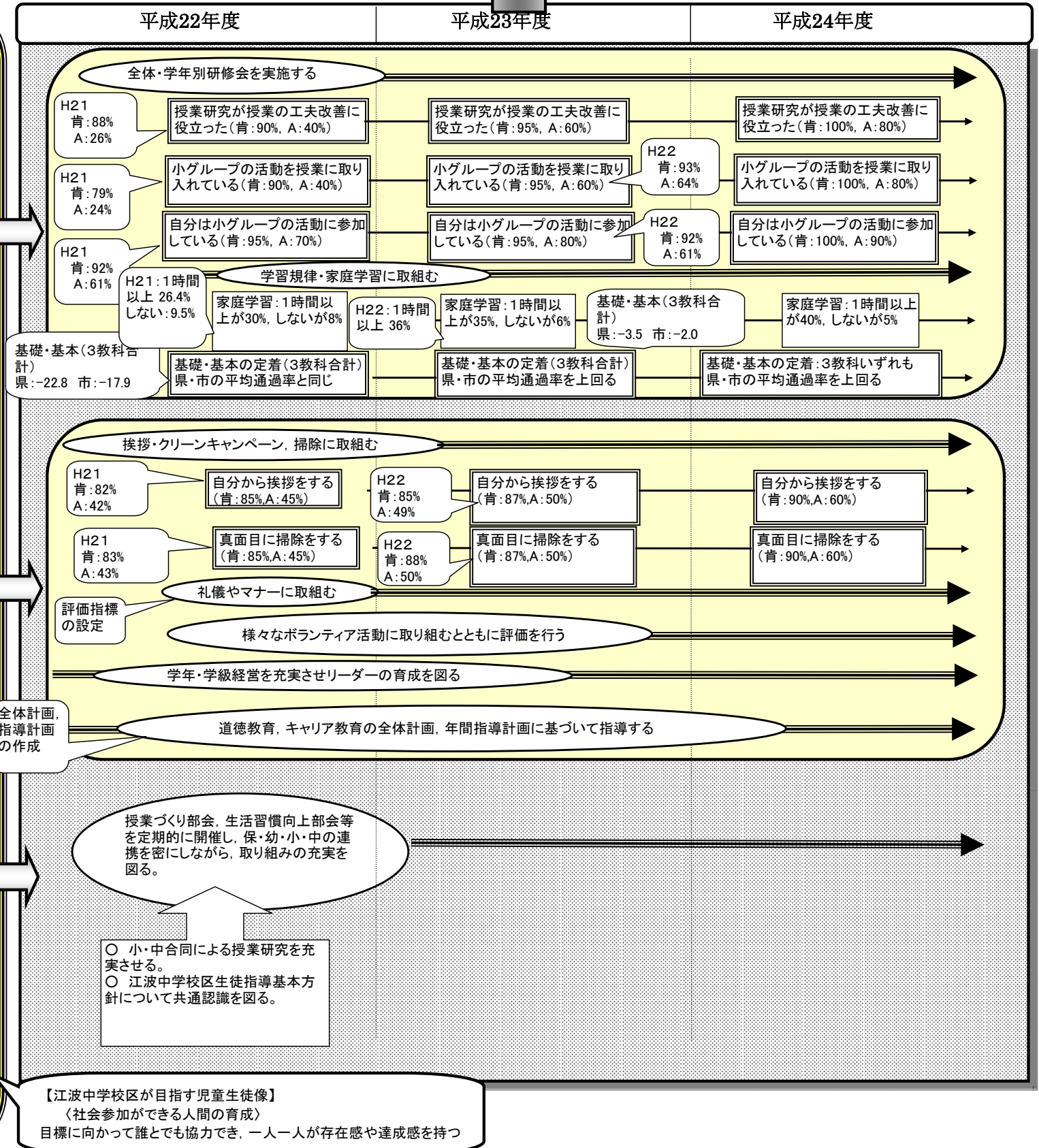
豊かな感性を持ち、進んで学ぼうとする生徒

勤労の精神に満ち、困難にも負けないで何事にも努力することができる

勤労 不屈

進んで学習に取り組むとともに、常に責任ある言動をすることができる

自主 責任



<p>学校教育目標</p> <p>豊かな感性を持ち、進んで学ぼうとする生徒の育成</p>
--

<p>目指す学校像(ビジョン)</p> <p>○ 目指す学校像:主任の実働化及び組織的・機能的、且つ協働的な学校運営体制の確立</p> <p>○ 目指す生徒像:清く明るい心を持ち、人間としてお互いに尊重することができる。勤労の精神に満ち、困難にも負けないで何事にも努力することができる。進んで学習に取り組むとともに、常に責任ある言動をとることができる。</p> <p>○ 目指す教職員像:常に学びの姿勢を持ち、生徒とともに成長する教職員</p>
--

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準	
				努力指標	成果指標
学 力 の 向 上	進んで学習に取り組み、確かな学力を身につけた生徒の育成に努める。	●協同的な学びを成立する授業改善に取り組む。 (理由)本校は基礎学力が県・市に比べ低く、望ましい人間関係づくり及び確かな学力の向上をめざした授業改善を図る必要があるため。	生徒のやる気や疑問を引き出すために、授業の導入時に 学習課題「めあて」を示す。 小グループの活動を授業展開に取り入れる。 (「わからない」が言える生徒を育成する)	4 「授業の導入時にめあてを提示した」の肯定率が70%以上	4 「授業の始めにめあてが提示されわかりやすかった」の肯定率が70%以上
				3 「授業の導入時にめあてを提示した」の肯定率が60%以上	3 「授業の始めにめあてが提示されわかりやすかった」の肯定率が60%以上
				2 「授業の導入時にめあてを提示した」の肯定率が50%以上	2 「授業の始めにめあてが提示されわかりやすかった」の肯定率が50%以上
				1 「授業の導入時にめあてを提示した」の肯定率が50%未満	1 「授業の始めにめあてが提示されわかりやすかった」の肯定率が50%未満
				4 「小グループや話し合いの場面を積極的に取り入れた」の肯定率が70%以上	4 「自分は、活動に参加している」の肯定率が70%以上
				3 「小グループや話し合いの場面を積極的に取り入れた」の肯定率が60%以上	3 「自分は、活動に参加している」の肯定率が60%以上
		●基礎基本の定着をはかるためのひとつの方策としてドリル学習や家庭学習の習慣が身につくように取り組む。 (理由)確かな学力の基本となる学習習慣が定着していないため。	江波中タイムや江波中タイムテストの結果を基礎学力の向上に役立てる。 家庭学習の習慣化を図るために課題を出し、毎日点検する。	4 「江波中タイムが基礎学力の向上に役立っている」の肯定率が70%以上	4 「江波中タイムが基礎学力の向上に役立っている」の肯定率が70%以上
				3 「江波中タイムが基礎学力の向上に役立っている」の肯定率が60%以上	3 「江波中タイムが基礎学力の向上に役立っている」の肯定率が60%以上
				2 「江波中タイムが基礎学力の向上に役立っている」の肯定率が50%以上	2 「江波中タイムが基礎学力の向上に役立っている」の肯定率が50%以上
				1 「江波中タイムが基礎学力の向上に役立っている」の肯定率が50%未満	1 「江波中タイムが基礎学力の向上に役立っている」の肯定率が50%未満
				4 「家庭学習の提出により習慣化できた」の肯定率が70%以上	4 「家庭学習を毎朝提出できた。」の肯定率が70%以上
				3 「家庭学習の提出により習慣化できた」の肯定率が60%以上	3 「家庭学習を毎朝提出できた。」の肯定率が60%以上
豊 か な 人 間 性 の 育 成	礼儀やマナーを身につけるとともに、豊かな感性を持ち、より良いものを目指して積極的に行動できる生徒の育成に努める。	●規範意識(礼儀、マナー)が身につくよう取り組む。 (理由)道徳的判断力を身につけさせるため。 ●生徒会活動の活性化を図るとともにリーダーを育成する。 (理由)生徒の自治能力を高め積極的に行動できる生徒を育成するため。	毎朝、あいさつ運動を行う。 授業の着ベルの指導を徹底する。 掲示活動をはじめ校内の環境美化に努める。	4 「あいさつや生徒への声かけを積極的に行った」の肯定率が70%以上	4 「あいさつ運動に参加し、気持ちのよいあいさつができた」の肯定率が70%以上
				3 「あいさつや生徒への声かけを積極的に行った」の肯定率が60%以上	3 「あいさつ運動に参加し、気持ちのよいあいさつができた」の肯定率が60%以上
				2 「あいさつや生徒への声かけを積極的に行った」の肯定率が50%以上	2 「あいさつ運動に参加し、気持ちのよいあいさつができた」の肯定率が50%以上
				1 「あいさつや生徒への声かけを積極的に行った」の肯定率が50%未満	1 「あいさつ運動に参加し、気持ちのよいあいさつができた」の肯定率が50%未満
				4 「教師自らチャイム前に授業場所についた」の肯定率が70%以上	4 「どの授業でも着ベルを守れた」の肯定率が70%以上
				3 「教師自らチャイム前に授業場所についた」の肯定率が60%以上	3 「どの授業でも着ベルを守れた」の肯定率が60%以上
				2 「教師自らチャイム前に授業場所についた」の肯定率が50%以上	2 「どの授業でも着ベルを守れた」の肯定率が50%以上
				1 「教師自らチャイム前に授業場所についた」の肯定率が50%未満	1 「どの授業でも着ベルを守れた」の肯定率が50%未満
				4 「学年、学級や分掌部会で環境整備(掲示活動など)を計画的に行った。」の肯定率が70%以上	4 「身の回りの整理整頓や清掃活動がきちんとできている」の肯定率が70%以上
				3 「学年、学級や分掌部会で環境整備(掲示活動など)を計画的に行った。」の肯定率が60%以上	3 「身の回りの整理整頓や清掃活動がきちんとできている」の肯定率が60%以上
				2 「学年、学級や分掌部会で環境整備(掲示活動など)を計画的に行った。」の肯定率が50%以上	2 「身の回りの整理整頓や清掃活動がきちんとできている」の肯定率が50%以上
				1 「学年、学級や分掌部会で環境整備(掲示活動など)を計画的に行った。」の肯定率が50%未満	1 「身の回りの整理整頓や清掃活動がきちんとできている」の肯定率が50%未満
		4 「全校朝会が無言で開始できるようになった。」の肯定率が70%以上	4 「全校朝会の時は無言を意識して整列できた」の肯定率が70%以上		
		3 「全校朝会が無言で開始できるようになった。」の肯定率が60%以上	3 「全校朝会の時は無言を意識して整列できた」の肯定率が60%以上		
		2 「全校朝会が無言で開始できるようになった。」の肯定率が50%以上	2 「全校朝会の時は無言を意識して整列できた」の肯定率が50%以上		
		1 「全校朝会が無言で開始できるようになった。」の肯定率が50%未満	1 「全校朝会の時は無言を意識して整列できた」の肯定率が50%未満		
		4 「礼儀、マナーの取り組みの成果が出てきている」の肯定率が70%以上	4 「礼やマナーについての大切さがわかってきた」の肯定率が70%以上		
		3 「礼儀、マナーの取り組みの成果が出てきている」の肯定率が60%以上	3 「礼やマナーについての大切さがわかってきた」の肯定率が60%以上		
		2 「礼儀、マナーの取り組みの成果が出てきている」の肯定率が50%以上	2 「礼やマナーについての大切さがわかってきた」の肯定率が50%以上		
		1 「礼儀、マナーの取り組みの成果が出てきている」の肯定率が50%未満	1 「礼やマナーについての大切さがわかってきた」の肯定率が50%未満		
		4 「合同終学活を通して学年リーダーが育った。」の肯定率が70%以上	4 「合同終学活で各学級の取り組みが交流できた」の肯定率が70%以上		
		3 「合同終学活を通して学年リーダーが育った。」の肯定率が60%以上	3 「合同終学活で各学級の取り組みが交流できた」の肯定率が60%以上		
		2 「合同終学活を通して学年リーダーが育った。」の肯定率が50%以上	2 「合同終学活で各学級の取り組みが交流できた」の肯定率が50%以上		
		1 「合同終学活を通して学年リーダーが育った。」の肯定率が50%未満	1 「合同終学活で各学級の取り組みが交流できた」の肯定率が50%未満		
●朝読書の充実を図る	学級文庫を作るなど朝読書の環境作りを行う。	生徒が本を読めるような環境作りを行った。	「静かに朝読書ができた」の肯定率が70%以上		
●道徳授業の充実を図る。	価値観の葛藤があり、多様な意見が交流できるような道徳の授業を実施する。	道徳授業の充実のために、学年会で綿密に交流できた。	「道徳の時間は、自分のためになっている」の肯定率が70%以上		
●日々の教育相談を充実させるとともに不登校生徒の減少をめざす。	生活アンケートの活用など教育相談の方法を交流し、生徒理解の充実を図る。 不登校生徒に対する組織的な対応や情報の共有を行う。	学年会で、教育相談前に、教育相談の方法を交流できた。 学年会で、不登校生徒の情報交換を行い、組織的な対応方法を協議できた。	「先生達は、私たちの相談に気軽に応じてくれる。」の肯定率が70%以上。 平成22年度に比べて不登校状態に改善が見られた		
町ぐるみによる教育の推進	保・幼・小・中学校や地域との連携を一層密にしなが、江波中学校区教育全体計画の推進に努める。	●必要な学校情報を地域・保護者に積極的に発信する。	ホームページを進行管理表に基づいて更新し、学校だよりの充実を図る。	学校だよりに授業改善や、生徒会活動、学年の取り組み等を掲載できた。	保護者アンケートから「学校便りに目を通している」の割合が70%以上
		●授業参観、懇談会の内容を充実させる。	懇談会の内容を充実させ、保護者の出席率を上げる。	懇談会の内容を工夫でき、保護者の出席率が上がった。	「懇談会の内容は充実していた」の割合が70%以上
		●家庭・地域との連携を密にし、地域ぐるみで教育課題の解決にあたる。	学校協力者会議、地域サポート会議の内容の充実を図る。	学校協力者会議、地域サポート会議の内容の充実が充実していた。	学校協力者会議、地域サポート会議の内容の充実が充実していた。